



日本骨代謝学会主催による骨代謝スクール

Skeletal Science Retreat

Skeletal Science Retreatは、骨代謝をはじめとした運動器科学研究に携わるアカデミアまたは企業等に在籍する、基礎あるいは臨床の若手研究者を対象に、研究概念や最新技術についてのセミナーに加え、座学のみならず各自の研究テーマをディスカッションし、切磋琢磨・相互交流を目的とした能動的参加型・合宿形式のミーティングです。

2018年11月17日^土～18日^日

会場 マホロバ・マインズ三浦

神奈川県三浦市南下浦町上宮田3231 TEL 046-889-8900
<https://www.maholova-minds.com/>

定員 30名 **募集期間** 2018年6月1日(金)～8月17日(金)

*応募が定員を超えた場合は、応募書類で採択を決定いたします。

1日目(11月17日)

13:00-13:30	オープニング・自己紹介
13:30-14:30	「遺伝子発現機構の研究においてNGSでできること・分かること・分からないこと」 大庭伸介先生(東京大学)
15:00-17:10	少人数グループディスカッション
18:00-19:30	夕食
20:00-21:00	「骨代謝學事始(こつたいしゃがくことはじめ)」田中 栄先生(東京大学)
21:00-22:00	テーマ別 Q&A セッション

2日目(11月18日)

9:20-11:30	少人数グループディスカッション
11:30-12:00	クロージング・表彰式

■ 参加費：10,000円(宿泊費、夕朝食含む。交通費は自己負担)

■ 参加要件：(以下の4つをすべて満たすこと)

- 1) 日本骨代謝学会会員であること(新規入会者も対象ですので、この機会に是非、日本骨代謝学会にご入会下さい)
- 2) 若手研究者(アカデミア、企業、基礎、臨床を問わず)
- 3) グループディスカッションで発表可能なこと
- 4) 全日程参加すること

■ セミナーに関するお問い合わせ：

一般社団法人 日本骨代謝学会事務局 Tel：075-468-8772 E-Mail：ssr@ac-square.co.jp

応募方法、プログラム等の詳細は特設HPをご確認ください。

<http://jsbmr.umin.jp/ssr/index.html>

主催：一般社団法人 日本骨代謝学会

実際 **SSR** ってどうなの？



Skeletal Science Retreat の特徴

1. SSR では、基礎研究だけでなく、トランスレーショナル研究、臨床研究と幅広い分野の参加者を募っています。企業の方の参加も歓迎します。
2. SSR では、未完成あるいは未成熟な段階の発表も歓迎します。
3. SSR では、発表時に分子名、遺伝子名、化合物名を伏せても構いません。また、参加者には他の発表者の情報の秘密保持を約束していただきます。
4. SSR での発表に対して、有益なアドバイス等が得られることも多いです。



SSRは基礎研究が中心の会ではないですか？

いいえ！ 臨床研究、トランスレーショナル研究についても活発に発表、議論して頂いています。



SSRでの発表や議論が難しそう。敷居が高そう。レベルが高すぎる。

いいえ！ 幅広い領域や年代のディスカッサーと参加者と、丁寧かつ時間を掛けて議論、説明できるので、決してハードルは高くありません。参加者の研究、臨床への知識、意識の向上が目的ですので、ご自身の経験や業績等に拘らないでください。



若手とは、どの年代層かわからない。

あまり厳密に捉えなくて構いません。
20代後半～40歳代前半と幅は広く、次世代の骨代謝関連の研究・臨床を深めて頂ける方を歓迎致します。



臨床医から見ると難しそうです。

いいえ！ 臨床研究、橋渡し研究についても活発に発表、議論して頂いています。また臨床の疑問を基礎研究に活かすことにも繋がるので、是非参加ください。



高い知識をもった研究者たちに交じってディスカッションする自信がない。

心配いりません。広い領域の方と、様々な観点やニーズに合わせて有意義な議論ができます。



育児中の研究者なので、参加が難しい。

応募の際にご連絡頂ければ、託児所サービスなどについて対応いたしますので、遠慮なくお問い合わせください。



現在の研究が未成熟である。現時点ではデータが足りない。

心配いりません。今後の方向性や新しい着想などをディスカッションできる場です。



現在の研究の進め方に自信がなく発表するのが怖い。

まさに SSR での発表の適任者です。